

2023年度  
第6回 理事会議事録

2024年 1月 19日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2023年度 第6回理事会議事録

1. 日 時 2024年 1月 19日 (金) 12:00～14:00
2. 場 所 鉄鋼会館 805号室
3. 構 成 員 14名
4. 出席構成員 13名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議事次第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 審議事項
    - 第1号議案 品質管理責任者 講習制度 (費用補助) の件
    - 第2号議案 高規格材鉄骨製作支援制度運用規程見直しの件
  - (6) 報告事項
    - 1) 委員会等活動状況報告
      - ① (仮称) 凶面問題対応検討WG
      - ② 中期ビジョン検討委員会
      - ③ 人材育成委員会
      - ④ 技術委員会
      - ⑤ 運営委員会
      - ⑥ 一次加工検討WG
    - 2) 特定技能外国人材対応について
    - 3) 大日本塗料 (子会社) における品質問題について
    - 4) 青年部関係 (意見交換会、全青会との連携の在り方)
    - 5) その他 (①能登地震対応 ②高力ボルト協会からの要請について  
③JASS6 改定対応)
  - (7) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 2023年度主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (8) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は大島理事が欠席し 13 名の理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていることが報告された。

### (3) 会長挨拶

永井会長より「新年から様々なことが起こっておりますが、皆様のご協力をいただきながら、今年も頑張りますので、よろしくお願ひしたい。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2023 年度第 5 回理事会の要点を読み上げ、確認、了承された。

### (5) 審議事項

第 1 号議案である品質管理責任者講習制度の審議にあたり、全国鉄骨評価機構／高野社長、鉄骨技術者教育センター／辰巳専務から、品質管理責任者の位置付け、講習制度の創設の背景等について、再確認として補足説明があった。

#### 第 1 号議案：品質管理責任者 講習制度（費用補助）の件

品質管理責任者 講習制度（費用補助）について、議案書[理 23-6-議 1]（p3-4）にそって、下記内容が説明された。

- ・講習の内容、費用については、教育センター側で詳細を詰めている段階。
- ・講習の受講料（全額）について、1 社（事業者）1 名を限度として、全構協で助成を行う。

議論が行われた結果、本案は原案通り承認された。

#### 第 2 号議案：高規格材鉄骨製作支援制度運用規程見直しの件

高規格材鉄骨製作支援制度運用規程見直しについて、議案書[理 23-6-議 2]（p5-10）にそって、新村技術部長から説明され、確認された。

- ・「高規格材鉄骨製作支援委員会」、「審査専門委員会」の委員の任期について、3 年から 2 年に変更する。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認された。

### (6) 報告事項

#### 1) 委員会等活動状況報告

##### ①（仮称）図面問題対応検討 WG

図面問題対応検討 WG について、議案書（p12-16）にそって、基本的な取組みの内容については大原総務部部長から、全国理事長会での理事長への要請について

は、秋山リーダーより説明された。内容は以下の通り。

- ・WGメンバーで当問題に関する課題の取り纏めを行い、国や建設業界に対する具体的な要望のまとめについては、建築士の資格も保有している、「聖橋法律事務所」の弁護士のサポートを得て行う。
- ・要望書の提出に際しては、多くの会員の賛同を得ることが必須であり、全国理事長会で内容を説明し、連名要望書への署名について協力要請を行う。2月の理事会に向けて、要望書を整理していく。

## ② 中期ビジョン検討委員会

「中期ビジョン検討委員会」について、議案書（p17）にそって新村技術部長より以下の内容が説明され、確認された。

- ・委員会で、3つのミッションに対して、各4項目ずつの具体的活動項目をまとめた。次回の委員会で、最終報告について協議していくこととした。

## ③ 人材育成委員会

「人材育成委員会」について、議案書（p18-20）にそって、大原総務部部長、滝本総務部課長から説明があり、確認された。

- ・次世代経営研修について、ここまでの7支部のアンケート結果が報告された。
- ・人づくり研修について、研修を実施するコンサル（候補5社）の選定状況について報告があった。今後のスケジュールとして、2月5日にコンサルからのプレゼン聴取、3月末を目途にコンサルを決定。

## ④ 技術委員会

「技術委員会」について、議案書（p21-24）にそって佐藤委員長より以下の内容が説明され、確認された。

- ・溶接施行実験は、日伸鉄工に依頼することとした。
- ・工場認定の保持状況調査の結果が報告され、対象360工場中、20工場が体制変更の報告書未提出、52工場が資格者一覧表未作成。各組合を通じて、報告書の提出、一覧表の作成の要請を実施。  
また、CAD利用状況調査概要について、新村技術部長から報告があり、概要は、以下の通り。
  - ・調査の回答数は、913社、回答率は42%となった。
  - ・CADそのものは広く使われているが、CADデータの利用という観点では、十分ではない。
  - ・設計者、施工者から受領するデータについては、利用する上で問題があるものが多い。
  - ・building SMART Japan社からの調査協力依頼については、調査結果から回答可能なものについて返答することとする。

## ⑤ 運営委員会

「運営委員会」について、議案書（p25-26）にそって、妹尾委員長より、以下の内容が説明され、確認された。

- ・支部の位置付けの明確化に関しては、支部の設置目的、支部長の選任、責任と権限等について原案整理中。年度内の諮問回答に向けてまとめていく。
- ・物流の2024年問題に関しては、荷降ろし時間、待機場所等、ゼネコンへの申入れ内容についてWGで整理中。今後は、必要な経費、具体的な金額等の情報をまとめていく予定。

## ⑥ 一次加工検討WG（一次加工工場の品質管理対応について）

一次加工工場の品質管理について、議案書（p27）にそって、説明があり、下記内容が確認された。

- ・一次加工の専門化が増加・定着している中で、その品質管理の在り方について検討する必要があると考えている。本件について、WGを設置して検討を進めたい。
- ・一方、本件に関して、コスト影響等の確認が必要である等の意見があり、WGの設置を含め、今後の検討の進め方については、次回2月の理事会であらためて協議することとした。

## 2) 特定技能外国人材対応について

特定技能外国人材対応に係る政府の有識者会議の報告内容について、議案書（p28-31）にそって平井総務部長より説明があり、確認された。

- ・外国人材に関する政府の有識者会議が、今年の11月に最終報告案を出した。
- ・本日の理事長会では、有識者会議の報告内容について、説明することとする。

## 3) 大日本塗料（子会社）における品質問題について

大日本塗料（子会社）における品質問題について、議案書（p32）にそって問題発生経緯、大日本塗料の対応、対象製品等について説明があり、確認された。

## 4) 青年部関係（意見交換会、全青会との連携の在り方）

全青会との連携の在り方について、議案書（p33）にそって大原総務部部長より以下の説明があり、確認された。

- ・全青会との連携の在り方については、昨年12月までに方向性を出すことを報告していたが、現時点結論に至っておらず、検討を継続させていただきたい。
- ・3月に行われる全青会の理事会には、永井会長も出席し協議を行う予定である。青年部との意見交換会について、議案書（別冊）にそって、出席者、進行、意見交換のテーマ・進め方等について説明があり、確認された。

## 5) その他

### ①能登地震対応

- ・寺田支部長から、被災の状況等について報告があった。
- ・全構協としては、過去の災害時の対応内容等を踏まえ、被災状況を確認した上で、今回どの様な対応をとるのかということについて検討していくこととした。

### ②高力ボルト協会からの要請について

高力ボルト協会からの要請について、議案書（p34）にそって、小貫専務より説明があり、確認された。

### ③JASS6 改定対応

- ・JASS6 の改訂作業が始まる段階にあり、協会として意見を求められている。
- ・まずは初期的な意見ということであり、技術アドバイザーに対応してもらうこととした。

### ④次期会長の選任方法について

次期会長選任の件、前回理事会で「執行部一任」とする案が承認されたことを踏まえ、大竹副会長より、「永井会長に続投していただく」ことを、執行部全員一致で決めた旨、報告され確認された。

また合わせて、副会長、監事の人選について、永井会長に一任することが確認された。

執行部の選任に関して、米森理事から、「従来から、各支部の支部長等の選任は、全構協の新執行部が内定する 3 月理事会以降とするよう申し合わせをしてきており、今後もこの対応を踏襲していただきたい」との指摘があった。

## (7) その他の定例報告事項

議案書により配布され、時間の都合により説明は省略された。

## (8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 竹	良 明
専務理事	小 貫	武
理 事	佐 藤	正 記
〃	三 浦	隆 宏
〃	秋 山	順 一
〃	寺 田	健 信
〃	柏 原	正 明
〃	出 雲	津 芳
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	五 月 女	久 和

理事総数 14名 うち出席者 13名 [ 欠席：大島副会長 ]  
監事総数 2名 うち出席者 2名